

はまぼうふう vol.42 2012. 4. 10.

石狩浜海浜植物保護センター通信
HP 上ではカラーでご覧になれます

続)海辺の風景再発見

いしかり海の「環」発見

ハマナスなど海浜植物群落とともに、砂丘の眼前に広がる石狩湾は、ふるさと石狩を象徴する風景です。石狩湾は、漁業の場として地域の生活文化と密接に関わるとともに、沿岸海域の生態系は、物質循環や食物連鎖を通じて海辺、さらには陸域の自然環境や私たちの生活と深く関わっており、次世代へ伝えるべきかけがえのない自然の財産です。

しかし、訪れる人の多くは、海の中の生命の多様性、絶滅の危機にある海辺の小さな命、当たり前に見ている海辺の景観が今は全国稀有のものであることを知る機会に乏しく、海と海辺が織りなす石狩海岸のすぐれた自然環境の魅力発信と保全意識の醸成が不可欠です。

そこで、昨年の海辺の風景再発見事業に続き、今年は、海の中にも視点を当てた、

いしかり海の「環」発見事業

海の映像啓発事業・・・海の中の生命とその多様性を映像化、上映（H25.2月予定）

海辺の風景再発見の旅・・・石狩浜の魅力ポイントを巡る観察会を開催（6/30★募集は4ページ）

いしかり海のふれあい自然体験教室

・・・海とふれあい海の声に耳を傾ける親子の自然教室を開催（7/14）

に取り組みます。

共催：石狩湾自然史ネットワーク（いしかり砂丘の風資料館/札幌市博物館活動センター/小樽市総合博物館）

／ いしかり館ネットワーク



全国モーターボート競走施行者協議会助成事業

本号もくじ センターでタネをもらって、海浜植物を育ててみよう！・・・p2

活動の記録・ボランティア募集・・・P3 海辺の自然塾・自然観察会 参加者募集・・・P4



2012.4.10.

センターでタネをもらって

■■■■海浜植物を育ててみよう■■■■

石狩海浜植物保護センターでは、海浜植物に身近にふれあい親しんでもらうため、来館者にハマボウフウなどのタネを配っています。

今回は、センターから持ち帰った種子を自宅で播種、育成している、ボランティアの石川さんから寄せられた栽培の記録を2回にわたり紹介します。これからチャレンジしようという方、ご必読！

海辺の草花をタネから育てる①

石川 治 (石狩市在住)

■5年ほど前、初めて石狩海浜植物保護センターを訪れたとき、海辺の草花のタネの無料頒布コーナーが目にとまりました。40年近く高山植物をはじめ山野草



の栽培に夢中になってきた私。たちまち血が騒ぎました。自分でも播いて育ててみないわけにはいきません。

とはいえ、山野草のことなら多少の知識を蓄えているつもりでも、海辺の草花についてはまったくの無知。ハマボウフウ、ハマニガナ、ハマヒルガオの葉っぱの区別がつきません。ハマニンニクと、海辺への侵入者のススキ(内陸草原性植物)、カモガヤ(外来植物)の穂の違いも判然としません。うろたえながらの栽培記です。

できるだけ自然の景観に近づけたいという夢想と、とにかく忙しいので手間をかけたくないという我がままとをマッチさせなければなりません。無造作に混植することで身近に海辺の花園を演出しようと試みました。

海辺の草花(高山植物もそうですが)は、ほかの植物たちに生存を脅かされることの少ない過酷な環境に逃げ延びて、そこでなんとか適応する形に進化してきた植物であるともいわれています。逞しくもありますが、ひ弱でもあるのです。雑草に埋もれてしまわないよう、せめて草取りだけは手抜きできません。

■私の住む花川北はもともと砂地。そのままだったら海辺の草花にとっては願ってもない寝床といえるかもしれません。

ところが私が用意した畑は、わが家の南に隣接する道路(市道)脇に設けられた幅1.7mほどの、日当たり抜群な緑地帯。ありがちな牧草が夏になると人の背丈ほどに繁茂し、花粉をまきちらして始末におえませんでした。10年ほど前から少しずつ掘り起こし、亜麻、ニゲラなどの草花を育ててきた路側帯の花畑。その一部を海浜植物コーナーとして転用しました。



毎年恒例、路側帯の亜麻畑

砂地どころか、道路造成の際に搬入さ

れたと思われる碎石がゴロゴロ混じっていて、しかも乾燥するとカチカチに固まる地味は、海辺の草花にとって決して心地よいものとはいえないでしょう。それでも、なんとなく私と相性の悪いハマエンドウ以外の草花たちは、結構いきいきと育てられています。(土地がら、木本類の植栽は避けました)



発芽して2年目の海浜植物コーナー (2009年7月)

■特別な播き床、苗床など用意せず、タネはすべて畑に直播きします。比較的大きなタネは適当な(10cmくらい)間隔で1cmくらいの深さの穴をあけて数粒ずつ埋め込みます(ハマボウフウなら4,5粒、ハマヒルガオ、ハマエンドウなら2,3粒)。小さなタネ(エゾカワラナデシコ、ハマハタザオなど)の場合は適当にバラまいて覆土もせず放置します。やがて彼らは勝手に芽を出し、育ち、可愛い花を咲かせてくれるのです。

次回はひとつひとつの花について、それぞれに触れてみたいと思います。



花盛りのハマボウフウ・ミニ群落 (2010年7月)



ほぼ2倍の面積に広がったコーナー (2011年7月)

皆さんもぜひ育ててみませんか！

庭ではほかの種と交雑する可能性があります。庭で育てた株や種子を自生地(いしかり浜)に戻すことは避けましょう。

■私のホームページ【[花畔・網](http://www.bannaguro.net/)】(ばんなぐろねっと)では、写真満載の栽培記『[海辺の花たちとつきあう](#)』を掲載しています。どうぞご覧ください。

【<http://www.bannaguro.net/>】

ご質問はメールで。【nv59@cameo.plala.or.jp】

2012年2~3月の活動の記録

2/11 (土・祝) エコ育広場 2012 ブース出展

貝、海浜植物のタネ、漂着物など石狩浜の素材でクラフト遊びを楽しんでもらいました。ブース参加者約70名。



札幌っ子からは、「もっと海のこと知りたい！」という感想が多く寄せられました。

3/3 (土) 海辺の自然塾第7回

石狩鳥類研究会樋口孝城さんより、「石狩浜の野鳥～生態と長期観察からわかること～」をテーマにお話いただきました。参加者42名。

3/24 (土) 海辺の自然塾第8回

北海道立総合研究機構中央水産試験場の浅見大樹研究員より「川と海のつながりを学ぶ～『ワカサギ』の生態研究から～」をテーマにお話いただきました。参加者25名。

**●●●石狩浜定期観察の会●●●
写真展「石狩浜の花ごよみ 2011」**

石狩浜の四季折々の花風景を写真展示します。
期間：4/23 (月) ~5/10 (木)
会場：札幌エルプラザ 2F (札幌市北区北8西3)

▼△▼△石狩浜自然案内人△▼△▼

石狩浜をフィールドに、その自然を素材に、楽しく学ぶ自然教室を開催しています。今年、作戦会議 Day を設け、新たなプログラムの開発に、メンバーで取り組みます。

次回作戦会議 Day は6月9日 (土) 10:00~
テーマ「コンパクトデジカメで撮る石狩浜」
一緒に活動したい方は、お問合わせください！
問合せ先：0133-60-6107 (火曜休館)

■□□いしかり海辺ファンクラブ□□■

石狩海岸に残されたすばらしい自然環境の魅力発信と、これを次世代に残すことを目指し、昨年11月に設立しました。ただいま、海岸利用者へ向けて、自然の大切さと利用マナーの徹底を訴える「石狩海岸カントリーコード」の作成配布や、石狩海岸フットパスマップづくりなどに取り組んでいます。

ブログ [いしかり海辺ファンクラブ](#) で検索できます！

♪ **会員募集** ♪
お気軽にお問合わせください
(会費：正会員 1200 円/年 賛助会員 一口 500 円)
事務局：tel.0133-74-1068 (石井さん)

観察活動は4~10月の第1, 3, 5水曜
メンバー募集中
問合せ：tel.0133-74-6198 (安田さん)

参加者募集

ウミベオロシーぶらす

石狩海辺学 + 北の自然史最前線！

＜海辺の自然塾／特別編＞

5月12日（土）

石狩川が石狩湾に注ぐ海辺のまち「石狩」の独特な自然を対象に、学芸員や研究者、市民が取り組む調査・研究の成果や様々な話題をお話します。

- ★20分間の発表を13件予定
- ★予定の話題：キタハウネンエビ、イソコモリグモ、セイヨウオオマルハナバチ、海浜植物の開花記録。砂丘のキノコ、蜃気楼、漂着鯨類、シロマダラ等
- 会場：石狩市民図書館視聴覚ホール
- 時間：10：00～16：00（途中休憩はさみず）
- 定員：一般25人（先着順）
- 参加料：資料代200円
- 申込期間：5/2（水）～5/9（水）
- 申込・問合せ：いしかり砂丘の風資料館 tel. 0133-62-3711

自然観察会「厚田・浜益の自然巡り」

6月2日（土）

厚田、浜益に広がる山々と海が織りなす自然豊かな場所を巡り、野鳥や草花を観察します。

- 集合：8:50 市役所駐車場（解散は同16:00予定）
- 定員：30人（先着順）
- 対象：小学4年生以上（小学生は保護者同伴）
- 参加費：高校生以上300円、中学生以下100円
- 持ち物：昼食（飲み物、敷物）、雨具、帽子、筆記用具
お持ちの方は双眼鏡※詳細はお申込時にご確認ください。
- 申込締切：5/30（水）
- 申込・問合せ：環境課 tel.0133-72-3240

ワークショップ「石狩浜の魅力と未来を語ろう！」

6月11日（月）

基調講演とワークショップで、石狩浜のファンづくりや今後の保全の課題について話し合います。

- 基調講演：「霧多布湿原の保全とファンづくり」
講師：霧多布湿原のヨカイト代表 三膳時子さん
- 集合：13:00 石狩浜海浜植物保護センター
途中、カフェマウニの丘へ移動
- 対象：どなたでも参加できます。
- 参加費：300円。
- 外も歩くので、動きやすい服装で。雨具もご用意下さい。
- 申込・問合せ：保護センターtel.0133-60-6107

いしかり海の「環」発見事業

海辺の風景再発見の旅

6月30日（土）

石狩海岸をバスで巡り、地形や成り立ち、動植物など自然に触れながら学び、魅力を再発見します。案内は、いしかり砂丘の風資料館、小樽市総合博物館、札幌市博物館活動センター各館学芸員ほか。

- 集合：8:45 札幌駅北口バスターミナル（解散16:30）
または9:30 石狩市役所（解散15:45）
- 定員：40名（先着順）
- 対象：小学4年生以上（小学生は保護者同伴）
- 参加費：高校生以上300円中学生以下100円
- 持ち物：昼食（飲み物、敷物）、雨具、帽子、筆記用具
お持ちの方は双眼鏡※詳細はお申込時にご確認ください。
- 申込締切：6/24（日）（先着順）
- 申込先：保護センターtel.0133-60-6107

いしかり海のふれあい自然体験教室

7月14日（土）

8:45～16:30※札幌駅発着の場合

石狩の海辺で、波とふれあいながら生きもの観察、採集を楽しみ、海遊びの魅力を伝えます。また、生きものつながりや、流れ着くゴミなどにも目を向け、海の声に耳を傾けます。

募集開始は6月から



かいくん はまなすちゃん

問合せ・申込み

4/29～11/3:石狩浜海浜植物保護センター
〒061-3372 石狩市弁天町48-1
tel.0133(60)6107(火曜休館・休館日は以下へ)

11/4～4/28:石狩市役所市民生活部環境室内
〒061-329 石狩市花川北6条1丁目30-2
tel.0133(72)3240

email. ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

